

令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

北相木村

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備事業
事業費		1,320,000 円 (うち支援金: 617,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

- ・農業は北相木村の基幹産業であり、獣害対策に重要な役割があります。猟友会の活動により年間 500 頭程のシカ・イノシシを駆除していますが、減少傾向にあるものの毎年農業被害が発生しています。
- ・また、鳥獣の道路や宅地への侵入も発生しており、通行の安全及び住民生活の安全を確保することが必要になっています。

(2) 本事業の目的

(1) の課題への対応方向について記載)

- ・畑に隣接した緩衝帯を整備して野生鳥獣の被害防止を進めたい。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 北相木村白岩地区

(2) 対象者 村民

(3) 実施方法

- ・倒木等の処理や緩衝帯の整備

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和 4 年度)

- ・令和 4 年度 (白岩地区)

②令和 4 年度計画

- ・北相木村白岩地区

面積: 0.4ha (延長 200m×幅 20m)



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

- ・緩衝帯を整備することで、村民の生活の安全確保や農業被害を守ることが出来る。

(2) 継続性

- ・鳥獣被害予防のための緩衝帯整備を進め、農業被害や森林被害の予防に継続的に取り組むたい。

(3) 普及性

- ・農林家が緩衝帯整備に興味を持ち、自発的な緩衝帯整備の実施につなげる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

- ・緩衝帯を整備することで、村民の生活の安全確保や農業被害を守ることが出来た。
- ・R4年度に周囲の森林(国有林)の森林整備も実施されたため、加和志パイロット地区全面の緩衝帯整備を進めることができた(緩衝帯未整備エリアが出来なかった)。

(2) 課題

- ・緩衝帯整備実施の数年後にはヤブなどが繁茂してしまうため、地域住民等による定期的な緩衝帯の整備が必要になる可能性がある。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

- ・地域住民と連携した緩衝帯整備を継続的に実施していきたい。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)